

平成19年度第12回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議
議 事 録

日 時：平成20年2月19日(火) 午前11時~午前11時40分

場 所：公立大学法人熊本県立大学 大会議室

出 席：学長 米澤和彦
副学長 古賀実
事務局長 角田岩男
文学部長 三木悦三
環境共生学部長 大和田紘一
総合管理学部長 松野了二
学術情報メディアセンター長 松岡泰
委員 河原畑廣
委員 源島真一郎
欠 席：委員 坂本元子

オブザーバー：半藤文学研究科長、永尾アドミニストレーション研究科長

事務局：手島総務課長、稲葉企画調整室長、鉄戸学生支援課長、田中学術情報メディアセンター事務長、安達入試班長、枝國主幹、元島主幹、林参事、郡山参事

1 開会(進行：稲葉企画調整室長)

2 学長挨拶

3 議事(議長：米澤学長)

(1) 審議事項

平成20年度入学者選抜の合格者決定について

・私費外国人留学生特別選抜分

各学部長から、資料1-1及び資料1-2の判定資料(会議後回収)に基づき、次のとおり説明があった。

三木文学部長から、「日本語日本文学科は1名が志願したが、欠席で受験しなかった。英語英米文学科は1名が志願、受験した。当該受験生を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

大和田環境共生学部長から、「食健康科学科は、1名が志願、受験したが、不合格としたい。他の2学科は志願がなかった。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

松野総合管理学部長から、「総合管理学科は、5名が志願、受験した。上位1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

・大学院春季募集分

各研究科長から、資料2-1及び資料2-2の判定資料(会議後回収)に基づき、次のとおり説明があった。

半藤文学研究科長から、「文学研究科日本語日本文学専攻博士前期課程は、春季募集の定員2名に対し、一般選抜を2名が志願、受験した。上位1名を合格としたい。社会人特別選抜を1名が志願したが、欠席で受験しなかった。

文学研究科英語英米文学専攻修士課程は、春季募集の定員2名に対し、一般選抜を1名が志願、受験した。当該受験生を合格としたい。

文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程は、春季募集の定員2名に対し、4名が志願、受験した。4名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

大和田環境共生学研究科長から、「環境共生学研究科環境共生学専攻博士前期課程は、春季募集では、定員若干名に対し、一般選抜を6名が、社会人特別選抜を3名が志願、受験した。一般選抜受験者の上位5名及び、社会人特別選抜の受験者の上位2名を合格としたい。

環境共生学研究科環境共生学専攻博士後期課程は春季募集のみである。定員3名に対し、一般選抜を2名が、社会人特別選抜を2名が志願、受験した。4名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

永尾アドミニストレーション研究科長から、「アドミニストレーション研究科アドミニストレーション専攻博士前期課程は、秋季募集及び春季募集合わせて定員20名である。春季募集では、一般選抜を3名が志願、受験、社会人特別選抜を20名が志願、19名が受験、また、外国人留学生特別選抜を1名が志願、受験した。一般選抜の受験者の3名、社会人特別選抜の受験者の上位15名、外国人留学生特別選抜の受験者の1名を合格としたい。

アドミニストレーション研究科アドミニストレーション専攻博士後期課程は、秋季募集及び春季募集合わせて定員4名である。4名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

事務局から、大学院入試に関して、秋季募集と春季募集を合わせた状況について、春季募集の合格者が全員入学手続きを行えば、文学研究科英語英米文学専攻を除き、定員を充足するとの報告があった。

(2) 報告事項

創立60周年記念シンポジウム「冬・進歩・・・大学と社会」の開催結果について

事務局から、資料3に基づき、創立60周年記念シンポジウム「冬・進歩・・・大学と社会」の開催結果について、「第1部 学部フォーラム、第2部 特別講演に約700名の参加があった。第3部の記念パーティについても200名を超える参加があり、盛会であった。また、同窓会紫苑会の秋野会長から寄附金目録の授与があった。」との報告があった。

4 その他

米澤学長から、「2月15日に開催された公立大学協会理事会において、文部科学省中岡大学振興課長から、『ある大学において、博士論文の提出の前後に院生から教員に対して現金・商品券の授受があり、収賄事件として立件された。くれぐれも学位審査の際に物品のやりとりがないように。』との口頭での通達があった。

論文審査に際して、金品等の授受がないように各研究科で徹底していただきたい。」との注意喚起がなされた。

5 閉会